

本校は2015年に職業実践専門課程として文部科学大臣より認定を受けた。最初の評価は、4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切の4段階評価で、細かい評価規準は作成しておらず、それぞれの評価については、個人の判断に委ねていた。「もっと詳しい評価基準が必要ではないか」との意見があり、2017年度から学内の「自己点検・自己評価委員会」で具体的な評価基準を検討した。その規準に基づいて年度比較を行い現状を報告し、学校関係者評価委員の意見を参考にし改善策を検討している。2018年度の評価結果と学校関係者評価委員会の意見は以下の通りである。

1 教育理念・目標 平均 3.41

		2018	2017	2016
理念・目的・育成人材像は定められているか	設問1	3.6	3.5	3.1
学校における職業教育の特色が明らかになっているか	設問2	3.7	3.4	3.2
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	設問3	3.2	2.9	2.8
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	設問4	3.0	2.9	2.9
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	設問5	3.5	3.2	3.0

学校関係者評価委員会評価

・教育理念については2016年にわかりやすい短文に変更され、育成人材像の再検討も行われている。

・職業教育の特長についてYMCAの特色を活かし、カリキュラムに反映させている。

・将来構想はあるが人口構成の変化、社会の動向が変化し実現が困難なことが多い。

・その他についてはおおむね良好である。

2 学校運営 平均 3.32

		2018	2017	2016
目的等に沿った運営方針が策定されているか	設問1	3.6	3.3	3.1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	設問2	3.5	3.3	3.1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	設問3	3.5	3.2	2.9
人事給与に関する制度は整備されているか	設問4	3.0	2.8	2.2
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	設問5	3.3	3.0	2.6
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	設問6	3.4	3.1	2.7
教育課程に関する情報公開が適切になされているか	設問7	3.3	3.2	2.8
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	設問8	3.1	2.8	2.5

学校関係者評価委員会評価

・学校の運営目標、学科の目標も立案され適切に実施されている。

・人事給与に関しては法人本部との関係もあり、学校独自の調整が困難な面が多い。

・その他についてはおおむね良好である。

3 教育活動 平均 3.51

		2018	2017	2016
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	設問1	3.6	3.4	3.0
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	設問2	3.6	3.3	3.1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	設問3	3.7	3.4	3.0
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか	設問4	3.7	3.1	3.0
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか。	設問5	3.6	3.1	2.9
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか	設問6	3.5	3.5	3.1
授業評価の実施・評価体制はあるか	設問7	3.6	3.4	3.2
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	設問8	3.6	3.4	3.0
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	設問9	3.8	3.4	3.3
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	設問10	3.7	3.5	3.1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	設問11	3.3	3.1	2.8
関連分野における業界との連携においてすぐれた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	設問12	3.1	3.0	2.5
関連分野における先端的な知識技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	設問13	3.2	2.9	2.6
職員の能力開発のための研修等が行われているか	設問14	3.4	3.0	2.7

学校関係者評価委員会評価

・学生便覧やシラバス、会議等で、関係者への教育理念等の周知が図られている。

・医療秘書学科については随時社会のニーズに沿い、委員の意見を反映させながらカリキュラムや教育方法の検討が行なわれている。

・授業評価については教員・非常勤講師を含め、科目終了時にアンケート調査を実施し、結果の指導ができています。

・教員については、積極的に学外の研修への参加を促し、費用の一部を学校が負担されている。学内の全教職員を対象とした研修も年3回実施されている。

・その他についても妥当な対応がとられている。

4 学修成果 平均 3.27

		2018	2017	2016
就職率の向上が図られているか	設問1	3.6	3.4	3.3
資格取得率の向上が図られているか	設問2	3.5	3.3	3.2
退学率の低減が図られているか	設問3	3.2	3.0	2.9
卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	設問4	3.0	2.8	2.5
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	設問5	3.0	2.8	2.2

学校関係者評価委員会評価

・就職希望者はほぼ100%就職できている。

・資格取得(国家試験)については、保健師を除いて全国平均を上回っている。

・卒業生の卒業後の状況把握については十分とは言えない状況である。卒業生名簿については専門業者に委託管理されている。

5 学生支援 平均 3.25

		2018	2017	2016
進路就職に関する支援体制は整備されているか	設問1	3.2	3.3	3.2
学生相談に関する体制は整備されているか	設問2	3.4	3.4	3.2
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	設問3	3.5	3.3	3.0

学校関係者評価委員会評価

・学校として学生に寄り添った支援がとられている。

・学生の意見を聞きながら、就職情報の提供は適切に行われている。

学生の健康管理を担う組織体制はあるか	設問4	3.5	3.3	3.1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	設問5	3.2	3.1	2.9
学生の生活支援体制は行われているか	設問6	3.5	3.2	2.9
保護者と適切に連携しているか	設問7	3.6	3.4	3.1
卒業生への支援体制はあるか	設問8	2.9	2.8	2.5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	設問9	2.7	2.5	2.8
高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	設問10	3.2	3.0	2.7

・2週に1回スクールカウンセラーの対応が図られている。

・学生の経済的支援は可能な限り行っているが、経済的に困窮している学生が多い。

・健康管理については年1回全員に実施。異常者をチェックしその後の状況を追跡している。また臨地実習については必要な検査を実施して健康管理を行っている。

・保護者会を年1回以上実施し、問題のある学生についてはその都度、連絡相談が行なわれている。

・卒業生の支援体制は、問題のある学生については連絡を取られている。

・高校等との連携によるキャリア教育は実施されていない。

6 教育環境 平均 3.49

		2018	2017	2016
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	設問1	3.5	3.0	3.0
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	設問2	3.5	2.7	2.7
防災に対する体制は整備されているか	設問3	3.6	3.4	3.2

学校関係者評価委員会評価

・おおむね良好である。

7 学生募集 平均 3.44

		2018	2017	2016
高等学校、接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	設問1	3.4	3.3	3.0
学生募集活動は、適正に行われているか	設問2	3.5	3.4	3.0
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	設問3	3.5	3.4	2.9
学納金は妥当なものになっているか	設問4	3.4	3.3	3.1

学校関係者評価委員会評価

・広報担当が中四国九州を中心に2018年度は360校程度訪問し情報提供が行なわれている。

・学生募集活動は精力的に行っているが、大学志向、少子化で困難な状況である。

・学納金についてはほぼ良好であるが、期間内の納金が困難な学生もいる。

8 財務 平均 2.69

		2018	2017	2016
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	設問1	2.7	2.5	2.3
予算収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	設問2	3.0	2.8	2.6
財務について会計監査が適切に行われているか	設問3	2.6	2.8	2.7
財務情報公開の体制整備はできているか	設問4	2.4	2.8	2.6

学校関係者評価委員会評価

・学生の定員充足率は学科によって差がある。4学科中、3学科は定員充足率が50%を割り財政的には厳しい状況である。

・外部からの会計監査は行われていない。

9 法令遵守 平均 3.67

		2018	2017	2016
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	設問1	3.6	3.6	3.4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	設問2	3.8	3.5	3.3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	設問3	3.7	3.5	3.1
自己評価結果を公表しているか	設問4	3.6	3.5	3.3

学校関係者評価委員会評価

・法令等に基づき適正な管理が行なわれている。

10 社会貢献・地域貢献 平均 3.64

		2018	2017	2016
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	設問1	3.7	3.5	3.2
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか	設問2	3.7	3.5	3.2

学校関係者評価委員会評価

・学生ボランティアは2018年度203名の学生が参加している。

・介護福祉の職業委託訓練生も毎年5名以上受け入れている。

11 国際交流 平均 3.00

		2018	2017	2016
国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	設問1	3.3	3.3	2.8
国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	設問2	3.2	3.0	2.7
留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	設問3	3.0	2.7	2.2
受け入れ・派遣等において適切な手続き等が取られているか	設問4	3.0	2.6	2.2
学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	設問5	2.6	2.4	2.1

学校関係者評価委員会評価

・授業科目に英語、国際理解を組み入れられている。

・ベトナムからの留学生の受け入れもされており、毎年、広島YMCAの留学生と岩国YMCAの学生との文化交流会も実施されている。

・その他についてもおおむね良好な取り組みがされている。